

□令和7年度歴史まちづくり講演会第四回□

徳川園の魅力を再発見

尾張徳川家二代・光友が造営した大曽根屋敷を起源とする徳川園は、黒門・堀・釣瓶井戸・脇長屋・蘇山荘という5つの登録有形文化財を有するなど、園内の随所に歴史の見どころが息づいています。
講演は、2005年の「愛知万博」に向けた徳川園整備工事に携わった元名古屋職員・森田高尚氏をお迎えし、当時の貴重なエピソードをお聞きます。
講演後は森田氏とともに園内を散策。植物の話や早春の風景を楽しみながら、徳川園の魅力をあらためて感じてみませんか。

参加費
無料

2026年3月7日(土)
13:00～16:30(受付12:50)

●受付（講演会場）

日本福音ルーテル復活教会
名古屋市東区徳川町2303

●定員

20名
申込が定員を超えた場合は抽選

●お申し込み先

※申込締切 2月20日(金)正午
(定員に満たない場合は継続)

●主催／お問い合わせ

景観整備機構 公益財団法人名古屋まちづくり公社
名古屋都市センター調査課
Tel.052-678-2219

日本福音ルーテル復活教会



●プログラム

・講演「蓬左文庫の建設と日本庭園の整備」

講師
東山植物園元園長 森田 高尚 氏

・徳川園内の散策



講師プロフィール

森田 高尚 MORITA TAKAHISA

三重大学林学科卒業。名古屋市に入庁し、鶴舞公園・徳川園などを担当。東山植物園長や緑地部長を歴任。その後、名古屋港ワイルドフラワーガーデン ブルーボネット 園長に。2012年からは中部復建株式会社にて造園の技術顧問を務め、現在に至る。趣味は植物や自然、町並みや文化の写真撮影。
著書：『園長さんのガーデンライフ』
監修：『世界一うつくしい植物園』

●協力

特定非営利活動法人なごや歴史まちづくりの会